

会報

熊本県日中協会

平成28年
8月発行

通刊95号

～さらなる友好の絆を～

《発行》
熊本県日中協会
会長 米満弘之

《事務局》
〒860-0846
熊本市中央区城東町4-2
熊本ホテルキャッスル2F
Tel 096-356-4847
Fax 096-325-2829



28年度総会の会場



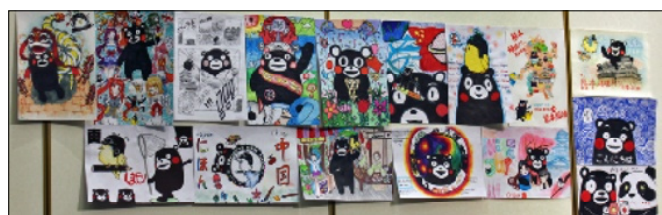
張晶九州日中
文化協会会長



祝辞を述べる
小野泰輔副知事



小杉直副会長が開
会の辞を述べた



九州日中文化協会主催の「日中子ども絵画展」に寄せられた中国の子ども達からの「熊本ががんばれ絵」張晶会長がたくさん持って来てくださり、総会会場の壁に飾りました。



「人と人とのつながりを大事にしたい」と米満弘之会長

一精元県知事に参加者全員で黙祷を捧げました。
小杉直副会長の開会の辞の後、米満弘之会長の挨拶では、熊本地震の際、九州

祝辞の他、公務により急遽
小野泰輔副知事と張晶九州日中文化協会会長の来賓

熊本県日中協会平成28年度総会が7月20日（水）、ホテルキャッスルで65名が参加して開かれました。

開会に先立ち、当協会の第2代会長を務められ、会長退任後は長年顧問としてご貢献いただいた、故沢田一精元県知事についての紹介などがありました。
日中文化協会から義援金をいただいたことや、創立時から本協会のためにご尽力された、故沢田一精先生のご功績についての紹介などがありました。

欠席された何振良中華人民共和國駐福岡総領事から届けられた祝辞が読み上げられ、議長に小野友道常任理



議長を務める
小野友道常任理事

事を選出して議事が開始。前年度の事業報告・決算並びに、平成28年度事業計画・予算、役員選任について承認されました。

総会終了後には、同会場にて（一社）日中協合理事長の白西紳一郎理事長の講演会が開催されました。（詳細は3面）

地震の「支援」に感謝

多大な功績の故沢田氏に黙祷

平成28年度
総会

主な事業計画

- ◎ 日中交流の推進事業
- ◎ 会報の発行
- ◎ 第35回熊本春節祝賀会
- ◎ 訪中団の派遣
- ◎ 県中国残留孤児等対策協議会への協力 など

第23回 熊本国際交流祭典

11/27(日)11:00~16:00

熊本空港ホテルエミナース敷地



宇藤映晃さん



大塚峰徳さん



船津邦夫さん



西岡勉さん



池崎順子さん

「宜しく願います」
新入会員がご挨拶



講演会の講師も招いて、総会懇親会は和やかに開催された



南川孝子さん



九州ルーテル学院大学（法人会員）の黄大衛さん



と熊本大学
頭を熊本
音達郎
杯の元
乾る崎
保健科学

講演会の後は、隣の会場に場所を移して、総会懇親会が開催されました。
崎元達郎熊本保健科学大学学長の乾杯の音頭でスタート。参加者は食事を楽しみながら、新入会員の皆さんの自己紹介スピーチに耳を傾けました。

和やかに
「日中」を語りあう



西田田鶴子さん



松下文さん



素晴らしい歌声で、拍手喝さいを浴びる唐津邦利理事

唐津邦利理事が、自らが作詞した歌をカラオケで披露されたり、事務局からの突然指名によるスピーチなどもあり、懇親会は楽しく盛り上がりしました。



岩下栄一顧問



松崎幸子理事

「滔天の友」を訪ねる旅
11月7日～11日（4泊5日）
行先 広東省広州市・中山市 ほか

地震のため延期となっていた訪中団を11月に実施します。詳細は改めてご案内いたします。



私たちは農業の振興と地域の活性化を通じて
熊本地震からの復興に全力で取り組みます。



中国は友であり、パートナー

日中協会・白西紳一郎理事長

東シナ海と南シナ海で講演



白西紳一郎理事長

一般社団法人日中協会理事長・白西紳一郎氏が、協会の歩みを紹介した後、「中国は友であり、パートナー、引越しのできない重要な隣国」と題して東シナ海と南シナ海の問題の違いを焦点に講演。要旨は次の通り。

東シナ海は主権と領土

日本の歴代の総理が中国と「四つの基本文書」を交わしています。日中の憲法と関係しています。

また、一昨年秋の「日中関係改善に向けた話し合い」の四項目合意の中で、「双方は、尖閣諸島等東シナ海の海域において、近年、緊張状態が生じていることについて異なる見解を有している」と認識し、対話と協議を通じて、情勢の悪化を防ぐとともに、危機管理メカニズムを構築し、不測の事態の発生を回避することで意見の一致をみた」とあります。

日中両国は東シナ海は主権と領土の問題で、絶対に譲れないと言っています。世界の歴史を見ると、必ずしも譲れないものではない。例えばヨーロッパにおいては、一九六三年に結ばれたフランスとドイツとの条約で、国境近くの鉾山が互いの共同開発で解決した。主権と領土は絶対的なものではない。

く、両国が仲良くなれば譲り会える、典型的な例です。中国とロシアにも同じ領土問題があります。皆さんご存知の珍宝島です。紛争で多数の死者が出ましたが、東側をロシア、西側を中国で分けて解決しました。相手の国がそれぞれの違った見解を持っていることを理解することが、解決の基本です。

尖閣諸島、中国は釣魚島と言っています。同島も日中が領土について違った見解を持っており、このことをお互いが認め合うことが、紛争解決の大前提です。信頼関係を持てれば、話し合いで解決できます。これは世界でいくつも成功例があるものです。日中問題がギクシャクしているのは、ほかの要因もあります。

日本軍撤退後の領土

問題は南シナ海です。以前、日本軍は第二次世界大戦が始まるころから、まず海南島に上陸し、マレー半島に行きました。直後に真

珠湾攻撃です。その前にはほかのところも・・・わずか二年余りでしたが、ヤルタ協定で全部の島々を放棄、その後、付近のベトナムやフィリピンなどの国々がそれぞれの能力に応じて島を取り返しました。

南シナ海は米中の覇権の問題

日本軍撤退後の領土がどこに属するのか、サンフランシスコ講和条約では決まっておらず、中国に言わせれば、「米国の陰謀だ」という。日本が降伏する一年半前までは中華民国があったが（現在の）中華人民共和国はまだ。領海、領土は必ずしもはっきりしておらず、中国は領土拡大を進めて来ました。

南シナ海の問題は米と中国の覇権の問題です。それは核戦力に大きな影響を持っており、戦略にかかわる厄介なものだです。台湾の東側にバシー海峡があります。ここに米原子力潜水艦が活動しており、人工衛星

でもキャッチ出来ない深さにいます。中国の原潜も海南島を基地にいます。

東シナ海は「5対5の話し合いで解決」で、南シナ海は「米中の覇権争いに手を出さない」ことが望ましいでしょう。

中国は埋め立て問題では日本の沖ノ鳥島を例に挙げ、「真似をしてるんです」と言っているそうです。

クーブダシアオブダ
哭不得, 笑不得

(泣くに泣けず、笑うに笑えず)



太陽と緑のとおき果汁



JA熊本果実連

【本部・熊本工場】 〒861-8514 熊本市東区小山町1846
Tel. 096-389-3311 Fax. 096-213-3286
【ホームページアドレス】 <http://3kj.jp>

敦煌

砂漠の大画廊

世界最大の仏教遺跡は修行場

北京から飛行機で約三時間。甘粛省敦煌市はゴビ砂漠に囲まれた、オアシスの町です。古代シルクロードは、敦煌で枝分かれしていました。漢の武帝が紀元前

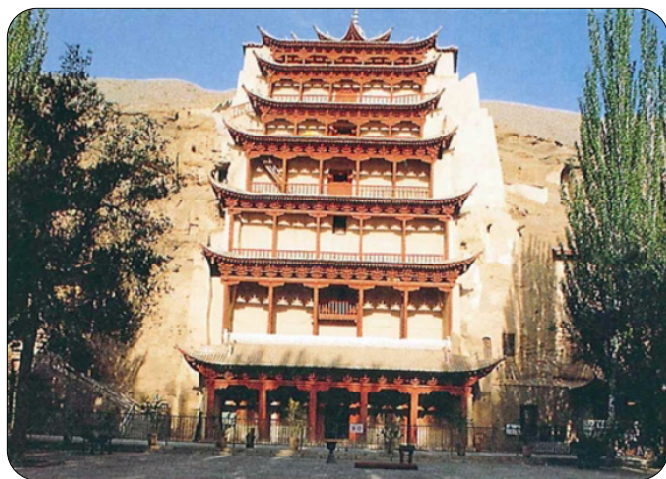
百十五年に敦煌郡を設けて以来、東西の交易の要として栄えました。

莫高窟は市内から東南へ約二十五き、鳴沙山の東側絶壁に約一・八きにわたって掘られた石窟群です。

四百九十余の彩色壁画窟、

二千四百の彩色塑像は人間味豊かな菩薩像や西域伝来の歌舞、華やかな飛天の浄土図が多く、域外芸術を絶えず取り入れた跡が見られます。

世界遺産

敦煌のシンボル
千仏洞

第45洞窟にある彩色彫塑は釈迦を中心に弟子たちの塑像

ma la song

马拉松 (マラソン)

ku

酷 (クール・素敵)

xu

T恤 (Tシャツ)

ka la

卡拉OK (カラオケ)

tian fu luo

天妇罗 (テン普拉)

fen se

粉丝 (ファン)

ji ta

吉他 (ギター)

ni long

尼龙 (ナイロン)

sha fa

沙发 (ソファー)

外来語を
中国語では多くの観光客がラクダ
で砂漠の小旅行砂漠に水が沸く
オアシス・月牙泉

集まり、三百六十六年、ある僧が修行禅定の窟を開いたのが莫高窟の始まり。崖を掘って修行場を広げていきました。以後千年にわたって造営され、現存する世界

最大の仏教遺跡は、大半が造営当時の色彩を残した「砂漠の大画廊」です。

編集後記

熊本地震で怖いものを見ました。眼前で揺れる飾り棚。一つは台所、もう一つはリビング。棚の中から、誰かが中の物を無理やり押し出しているようでした。割れる音、こする音。二度目の地震で敏感になり、ドンという音とほぼ同時にベッドを飛び出し、リビングへ行ったものの、無力にも骨董品類を助けられませんでした。

中国旅行二度目に、北京で買った上品な緑石の香炉が無残に割れ、古代の証明付き急須や花器も。さすがに木製品は難を免れました。

飾り棚の中国の工芸品を見るたびに、買った都市の歴史や自然、風土が蘇ってきます。中には作者と交わした技術話も。思い出が一杯詰まった工芸品は、私にとって日中友好の架け橋みたいなもの。また買い直して「中国館を再建」するか、迷っています。

(機関紙編集委員会・小串 照彦)